

## 第4回：エネルギーの源泉～それは光か闇か～

質問：魂の記憶に深掘りができない。

エネルギーの源泉を見つける上で、大事なことがある。  
何処かのタイミングでエネルギーが凄い上がった瞬間があるはず。

その共通点を見つけていく。

エネルギーが下がっているときは、  
源泉と断裂しているとき、その共通点も見つける。

部活で国体選手になった時、  
特に決勝の時、負けると思っていたけど、勝てた時。

なぜ、その時輝いていたか？

一番どん底だった時はいつか？

枠を超えた時が好き。

試合に勝った時に、相手の悔しそうな顔を見てる炉、気持ちよかった、  
これはダークサイドよりの考え方。

今までの人生でエネルギーが上がった瞬間、  
そして、それが光か闇かを見極める。

光は、一体感、世界が広がる、全体性、調和、対局、ワンネス、真理、愛、無限のもの、  
それに至るプロセス、神話、ジャーニー。

魂のレベルではこれらを求めている。  
人によって感じ方が違う。

闇の源泉は、  
承認欲求（認められたい、かっこよかった）とか、  
劣等感（今まで負けてたけど、勝った。）。

これは光なのか闇なのか？を意識する。

ダークサイドに落ちると、ダークエネルギーがくる。

ステージが低い人から見たら、  
ダークサイドの人でもブレないから、ステージが高く見える。

なぜ、人はダークサイドに落ちるか？

少しの光が見えてると、苦しいから、  
完全に光を遮断する。そうすれば、ブレなくなる。

いっそのことなら、消してしまいたいと思う。

楽しいと思ってる時も、  
これは光なのか闇なのかを認識する。

ダークサイドは、刺激、みんなに認められて気持ちいい。

体に悪いものを食べても美味しく感じるには、刺激（闇）だから。

コンサルする時も  
いかに相手の光の部分にチャンネルを合わせられるかどうか。

恋愛の時も、愛なのか情なのか。  
「この人私がいないとだめなの」ってことは情。

光なのか刺激（闇）なのか。

別れた彼女だけど、  
かわいそうだから会ってあげるとかも情。

脳はがアルファ波（ゆったり）の時は、光を求めやすい、  
β波（グラグラ）の時は、刺激を求めやすい。  
（顕在意識の判断は鈍りやすくなる）

潜在意識では成長したくない。（ホメオスタシス）  
全員魂レベルでも成長したい（ベクトルが外側に向いている）、顕在意識でも成長したい。  
→間の潜在意識がブレーキになる

幼少期に作られたプログラム（リミッティングビリーフ）  
思考に制限、ブロックをかける、このプログラムを元に行動する。

特に母親の影響。

引き戻し現象（潜在意識のブレーキ）は別名、神試しと言われる。  
有神論パラダイムで考えて見る。

昔の友達から連絡来たり。  
これは神試し。

要は、お前は本当に成長してやっていくつもりなのか？  
という時に、引き戻し現象が来る。

昔のビジネスパートナーとかから、  
楽に稼げる方法あるからとか。

どれだけ、執着しないか。執着を手放せるか。  
どれだけ、興味を示さないか。

そういうのを手放した時に、急に良いことが起こる。  
これが人生の転機。

露払い現象も同じ。  
一気に人がいなくなる。

執着を手放せるか？

自分がしがみ付いていたのを手放せるか。

これはよくあること。

昔、ステップメールを捨てたことがある。  
「もったいない」って言われるんだけど、

毎月、それだけの収入が入るってことはそれだけエネルギーがきている証拠で、  
そのエネルギーをお金に変換しているだけで、

変換しなくなると、  
エネルギーがガンと溜まって、別のものに変換される。新しい展開が始まる。

急に流れが変わって、転機が来る。

必ず、この流れやうまくいくと確信できるか。  
そうすれば、だんだん肌感覚でわかって来る。

「いまこうだから、この後上手く行くに決まってる」

絶対大丈夫、そういう確信をえていく、  
「よしよし、キタキタ、」って思えるか。

ワンピースで絶望の時でも、  
やばいな〜と思いつつも、心のどっかで安心してる。

主人公マインドが大事。  
いかに自分は、自分の神話の主人公であるかが、大事。  
この意識が強くなると、主人公補正が強くなって、  
主人公補正とは、どんな絶望を迎えても、主人公は死ななくなる。

あとは、コミュニティの力を使う。  
コミュニティとかで神話をシェアする。

乗り越えていったら、必ずうまくいく、それをシェアする。  
試練がないと、ステージが上がらない、一旦しゃがむ時期が必要。

無形の神話に対して、どれだけで信頼をおけるか、  
信頼を置いていると、流れに乗ることができる。

いろんな人の相談に乗ることもできるし。

## メルマガ

### 【魂に響くメッセージの作り方】

女性起業家の話。

ビジネスは順風満帆だったのに、  
絶賛アイデンティティクライシス真っ只中。

メルマガを書こうとしても何も思いつかないし、  
メールを返すのも辛いし、もう何もやる気がおきないくらい。  
しかも何故だかわからず、モヤモヤという感情だけが続く。

原因は、「自分の発信が自分が本当に求めていることと乖離がある」ということ。

発信していること

コンセプトは「働かずに楽して不労所得を得る」

そして、「このノウハウを広めて1人でも多くの人がこんな生活が出来たら、もっと幸せな人が増えるに違いない！」と思って、発信を続けていた。

でも、成功する人は自分から離れていく。

本当に求めていることは、

「誰かと深いところで共鳴し合えた時」です。

自分の魂の声を発信することを、「腹で語る」という。

脳と腸は繋がっているとされていて、

人は脳だけでなく、腸でも思考してる。

特に心の深い部分では、腸で考えている。

深いところで理解することを「腹に落ちる」というのも、

腸で理解しているということ。

情報発信で重要なのが、腹で語るということ。

次のステージは、

ビジネスの本質から人生の本質。

**【乗るしかない、このビッグウェーブに！】**

稼げる人にはオーラがある。

それってどういう人なのか？というと、

こんなマインドを持ってる人。

名付けて、

「乗るしかない、このビッグウェーブに！！マインド！」である。

よく何気無い雑談で、

「こういうのやったらいいんじゃないですか〜？」って、

冗談ばく結構、ぶっ飛んだことを提案することがある。

でも、それは、その人がイメージできることの延長線上をはるかに超えたようなことだったりする。

そうすると、だいたい2種類の反応が返って来る。

1つ目、

「なるほど～、そっか・・・いや～それ面白そうですね。  
またそのうちやりたいですね～。」

とか、

「いや～それやりたいんだけどなあ～  
う～～～～ん、なんだろうなあ、抵抗があるな～」

みたいな感じ。

こういう時は、冷めた空気が流れている。

2つ目は、

「乗るしかない、このビッグウェーブに！！」マインド。

だいたい、人生の流れが大きく変わる時って、  
その人が想像だにしていなかったことだったり、  
今の延長戦から大きく外れた、枠を超えたぶっ飛んだことを言われた時。

これは、

人生を変える大きな波が到来している時。

しかし、そんな時に、潜在意識は強烈な反発をする。  
これがホメオスタシス。

「変わらないように現状維持をしようとする機能」  
のこと。

こういう時にやっちゃいけないことは、  
思考を挟ませるということ。

思考を挟んだら負け。

思考を挟めば挟むほど、  
「今はまだ乗らない方がいい理由」を作り出すから。

「”今はまだ”乗らない方がいい理由」。

乗りたくないわけじゃないし、  
いいなあって思いつつも、でも、  
「今 は ま だ乗らない理由」を作るわけである。

ほとんどの人は、セールスをすれば、  
「今はまだ買わない理由」を頭の中で作る。

買いたくないと思ってるわけじゃなくて  
「今はまだ買わない理由」を作る。

「ステージが上がったら、今持っている悩みは、悩みじゃなくなる」

行為の果実を受け取らないマインド

行為の果実を受け取ると、  
せっかく人に喜んでもらうことで積まれた徳が、  
「満足感」によって消費されてしまう。

「自分のおかげにしない」ということ。